

トップコミットメント

次世代の夢を
実現する

日本曹達は、ステークホルダーの皆様とともに、次世代の夢を実現する化学会社として持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

代表取締役社長 石井彰

日本曹達のCSR経営

2020年の創業100周年を最終年度とする中期経営計画が2年目を迎えました。「スピードと変革」をテーマに、既存事業の拡大と新規事業の創出・開発推進、グループ事業基盤の強化を実現するべく着実な取り組みを進めています。

日本曹達は、社会・経済・環境の変化を事業機会と捉え、「農業」「医療」「環境」「情報」の各分野において製品ソリューションによる社会課題解決と企業価値向上に向けた取り組みを推進しています。中期経営計画の中で明示した「CSR経営の深化」については、日本曹達の持続的成長を支え骨太な経営基盤づくりに欠かせない企業活動であると考えています。

日本曹達のCSR経営においては、化学会社としての良い影響を最大化する製品を通じた社会貢献「企業価値を高めるCSR」、多くの化学物質を取り扱う企業として「安全」「環境」「品質」に関わる負の影響を最小化する活動「企業価値を守るCSR」、ステークホルダーとの共生をめざす活動「社会活動」の3本の柱（P.7参照）を軸に、CSRを企業存続に不可欠な重要項目と位置づけ、持続的な企業価値向上をめざす経営戦略に統合された活動への深化を目指した取り組みを推進しています。

日本曹達のCSR経営のマテリアリティ^{※1}として、2016年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を特定しています。今後とも、日本曹達らしいイノベーションの創出にスピード感を持って取り組み、グローバル市場において持続可能な社会の実現に貢献する化学会社としての存在感をより一層発揮できるよう、SDGsの取り組みについても継続的な議論を重ねてまいります。

また、持続的な企業価値向上と成長を支えるマネジメント基盤をより強固にするべく、コーポレートガバナンス・コードに基づき、法令遵守・企業倫理に則った健全で透明性の高い企業活動を推進しています。

ダイバーシティの推進

多様な価値観を持った企業集団こそ新たなイノベーションを生み、グローバルな競争力を向上させることから、ダイバーシティ推進を重要な経営戦略として位置づけています。失敗を恐れず情熱と意欲をもって生き活きと活躍する人材の育成と、一人ひとりの力を十分に発揮できる組織風土づくりを推進し、日本曹達らしい働き方改革についても取り組みを強化していきます。

日本曹達は、これからも次世代の夢を実現するイノベーションを創出し社会から求められる化学会社として持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

（※1）取り組むべき重点課題